☆平成15年度 可決 老人保健特別会計補正予算（第3号）

予算の総額に歳入歳出それぞれ
1,400万円 を追加し、
歳入歳出予算の総額を
8億1,715万4千円 とする
（医療給付費の町負担金が増えたため、一般会計より繰り入れるもの）

☆平成15年度 可決 介護保険特別会計補正予算（第4号）

予算の総額から歳入歳出それぞれ
497万5千円 を減額し、
歳入歳出予算の総額を
5億7,699万2千円 とする
（施設介護サービス給付費の減額によるもの）

☆平成15年度 可決 一般会計補正予算（第8号）

予算の総額から歳入歳出それぞれ
940万9千円 を減額し、
歳入歳出予算の総額を
68億647万円 とする
（各会計の年度末調整、国際会議訴訟に係る経費が主なもの）

●主な歳入は、町税が5,070万円の増、除雪経費関連で特別交付税が5,284万6千円の増、ゆざわ国際会議損害賠償金757万1千円が町長から納入されたことなどにより諸収入776万3千円の増、財政調整基金を戻したことにより繰入金1億2,816万4千円減。

●主な歳出は、ゆざわ国際会議損害賠償請求に係る弁護士報酬補助金143万8千円、老人保健特別会計繰出金1,400万円増、その他、各事業費の年度末清算による減等。

行政報告

湯沢町長　村山隆征

平成15年度の観光客の入込み数については、前年度に比して56万4千人の減、総数で651万人、対前年度比92％でした。依然として、長引く不況の影響を受けていると考えております。

4月29日のみどりの日には、第12回「花まつり・ゆざわ」が湯沢中央公園において開催されました。町内外から約6千人の来場者が訪れ大盛況でありました。

町民総参加による「観光立町宣言」に向けて、推進委員会で検討協議を進めています。「湯沢さあ来る！活動」をキーワードに「新サービス開発」「地場産品開発」「新イベント開催」「交流輪づくり開発」の4部会が発足いたしました。町職員と町民30名で構成し、それぞれの部会で活動を開始しました。中山間地域総合整備事業については、体験工房「大源太」が7月1日オープンいたします。そば打ち体験等と地域の振興を図ります。

新生産調整では、湯沢町に16年産米768トン収量配分が行われ、この収量を作付面積に換算し合計175haを農家個々に配分いたしました。ご協力いただき達成出来る見込みであります。

生活環境の美化と不法投棄等の防止を図り、粗大ごみ特別収集事業を5月21日から30日の10日間にわたり実施いたしました。2009年国体冬季大会のアルペン競技会場が、苗場スキー場に決定いたしました。町民の皆さんと行政が一体となって成功させるよう準備を進めております。

三俣地域振興策について、地元三俣未来町づくり協議会と協議しながら具現化に向けて努力してまいります。

国際社会に対応できる人材育成と異文化の理解、そして英語力の向上や町民交流に向けて、昨年8月にアメリカ合衆国に町職員を派遣した結果、ユタ州ソルトレイク郡「マグナ」を国際交流姉妹都市提携の候補地として町民皆様にお知らせいたしたところであります。

平成16年度には、湯沢中学生生徒14名と教職員、町職員2名を7月31日から8月13日の間、ホームステイに派遣し、教育交流を進めながら互いに信頼を高めていきたいと考えております。また訪問調査に町長と町職員1名を7月31日から8月6日まで、中学生と同行派遣し、「マグナ」関係者と連携協調を図りながら、相互交流の内容及び姉妹都市提携に向けて意見交換をし、相互理解を深め国際交流の推進を図ってまいりたいと思います。